

福井県老人クラブ連

題字／吉川 壽一 書

発行
一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
〒910-0026
福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内)
TEL.0776-24-4853 FAX.0776-24-4580
E-mail : fukuirr@yacht.ocn.ne.jp
HP : http://fukui-rouren.jp

2018 Vol.153

平成30年9月

～のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを～



老人家庭相談員研修会 ～相談員に聞く～



老人家庭相談員とは

福井県で老人家庭相談員設置要綱(昭和45年10月1日)により制度化され、県知事の委嘱を受け、単位老人クラブに1名設置されています。

在宅の寝たきり、一人暮らし、病弱な老人(要援護老人)の家庭を適宜訪問し、声かけ、見守り、話し相手や相談相手となり、福祉サービスが必要な状況や異変を感じた時は専門機関に情報をつなげる活動を行っています。

また、在宅療養されている会員および、その介護者にあたるご家族の方に、友愛募金の御見舞品とともに皆様方のお気持ちをお届けいたしております。

目次

事業計画・新役員紹介・予算・事業予定 ……2～4
「1万人会員増強運動」の推進(H29年度結果)…5
県老連事業報告 ……6～9

- ・東海北陸ブロック老人クラブリーダー研修会
- ・老人家庭相談員研修会
- ・女性リーダーセミナー

全老連 中央セミナー ……10
健康づくり推進員の紹介 ……11

平成30年度事業計画

I. 基本方針

老人クラブでは、これまで地域の一員として、健康づくりや友愛活動を通じ支援を必要とする高齢者の見守りや日常的な生活支援に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面する中、介護保険制度の見直しで、各市町では、新地域支援事業に取り組み、高齢者を行政や地域団体などと協働して支える体制の整備が求められています。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、市町が行う新地域支援事業に参画し、高齢者が住み慣れた地域で安心して長く暮らし続けられるよう事業活動に取り組んでいきます。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の最終年を迎え、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治会と連携した取り組みを行うなど、運動の強化を図る必要があります。

平成30年9月29日からは、本県において「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」が開催されます。

老人クラブにおいても、スポーツの感動を広め、未来へつなげる国体を実現するために、会員一人ひとりが「みる」「支える」という立場から積極的に参加することが重要であります。

福井県老人クラブ連合会は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」の全国統一メインテーマを踏まえ、県をはじめ各行政機関や関係諸団体の協力・支援を得ながら、市町老人クラブ連合会と連携を密にして積極的に各種事業を推進していきます。

II. 推進事項

- 1 福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」の推進
- 2 高齢者の暮らしを支える「新地域支援活動」への参画
- 3 健康寿命をのぼす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 4 消費者被害防止に向けた活動の実践
- 5 高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 6 国体に向けた「宣言」の実践
(平成27年6月16日 会長会議において採択)

III. 事業実施計画

I 高齢者の健康づくり及び介護予防推進事業

- 1 高齢者健康・生きがい講座事業
- 2 高齢者スポーツ振興事業
- 3 高齢者地域交流ウォーキング事業
- 4 健康づくり推進員派遣事業
- 5 県老連会長杯公式ワナゲ交流大会事業
- 6 ラジオ体操・いきいきクラブ体操及び体力測定の推進

II 高齢者相互支援及び地域支え合い活動等、暮らしの安全・安心推進事業

- 1 友愛募金運営事業
 - ① 募金運動
 - ② 在宅療養高齢者と介護者の実態調査・見舞品配布
 - ③ ふれあいサロンの実施助成
 - ④ 災害等罹災者見舞金の交付
- 2 お年寄りふれあい訪問事業
 - ① 老人家庭相談員研修会
 - ② 訪問活動
- 3 「新地域支援事業」に向けての取り組み
- 4 防犯、防災、交通安全活動の推進
- 5 子ども見守り活動の推進



Ⅲ 老人クラブ育成指導推進事業

- 1 老人クラブ指導者研修開催事業
- 2 女性リーダーセミナー開催事業
- 3 福井県老人クラブ大会事業
- 4 全老連等研修会参加事業
- ① 老人クラブリーダー中央セミナー
- ② 全国女性リーダーセミナー
- ③ 在宅福祉を支える友愛活動セミナー
- ④ 老人クラブ健康づくり中央セミナー
- ⑤ 東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会
- 5 全国老人クラブ大会参加事業(沖縄県)

Ⅳ 会員増強・クラブ活性化の取り組み

- 1 老人クラブ「1万人会員増強運動」年間1クラブ2名純増で1万人の推進
- 2 会員純増クラブ・市町老連表彰
- 3 活動賞・優良老人クラブ表彰

Ⅴ 広報活動推進事業

- 1 機関誌「福井県老連」年2回発行
- 2 ホームページ運営

Ⅵ 全国運動・全国共通目標の取り組み

- 1 老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進

新役員紹介

理事	斎藤 甚三郎	(勝山市高連)
"	三上 利明	(鯖江市老連)
"	今田 一榮	(坂井市老連)
"	木原 松右衛門	(越前町老連)
"	堀口 忠男	(おおい町老連)
"	山本 和男	(若狭町老連)
監事	高木 光夫	(敦賀市老連)
評議員	豊原 春雄	(坂井市老連)
"	帰山 美智栄	(鯖江市老連)
"	境 勝利	(県長寿福祉課長)

Ⅶ 法人運営

- 1 役員会等の開催
- 2 関係機関との連携
- 3 予算及び事業執行方針
- 4 「老人の日」「老人週間」の取り組み
- 5 全国一斉「社会奉仕の日」の取り組み
- 6 老人クラブ傷害保険・賠償責任保険の加入促進
- 7 老人クラブ会員章の普及
- 2 新地域支援事業への取り組み
- 3 全国三大運動(健康・友愛・奉仕)の推進

県からの
お知らせ

「第16回 関西文化の日」開催

今年で第16回目を迎える関西文化の日は、関西一円の美術館・博物館・資料館等の文化施設のご協力により、11月に入館料(原則として常設展 ※通常無料施設あり)を無料とする取組みです。

関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化に気軽に接することのできる機会となっていますので、ぜひ、この機会に、「文化の秋」「芸術の秋」を楽しんでみませんか？

参加施設や実施日など、詳しい情報はホームページをご覧ください。

<https://www.kansaibunka.com/>

第16回

関西文化の日

関西一円の美術館・博物館などが

入館無料

(関西一円の美術館・博物館などが入館無料(原則として常設展のみ ※通常無料施設あり))

平成30年11月17日(土)・18日(日)ほか

福井・三重・滋賀・京都・大阪・
兵庫・奈良・和歌山・鳥取・徳島の2府8県参加

参加施設やスケジュールなど
詳しい情報はホームページより

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

【主催】関西広域連合、関西観光本部、
関西元気文化圏推進協議会
【協力】文化庁地域文化創生本部
【問合せ先】関西文化の日事務局
06-4964-8844
(平日 10:00 ~ 17:00)

平成30年度 収支(損益)当初予算書

	科 目	当初予算額	附 記
収入の部	基本財産等運用益	82,000	
	分担金収入	7,140,000	国庫クラブ @7,000 円 その他クラブ @1,000 円
	受取補助金	14,242,000	1. 福井県老連事業補助金 2. 活動推進員助成 3. お年寄りふれあい訪問事業 4. 地域交流ウォーキング事業 5. スポーツ振興事業 6. 健康・生きがい講座事業
	受取負担金	2,356,000	参加者負担金（研修会参加等の参加者負担分）
	受取寄付金	9,450,000	友愛募金
	委 託 金	1,100,000	県健康管理協会等委託金
	雑 収 益	881,000	預金利息等
	収 入 合 計	35,251,000	

	科 目	当初予算額	附 記
支出の部	事 業 費	7,311,000	1. 高齢者の健康づくり及び介護予防推進事業 生きがい健康講座事業 スポーツ振興事業 地域交流ウォーキング事業 県公式ワナゲ交流大会 健康づくり推進員派遣事業
		9,530,000	2. 高齢者相互支援及び地域支え合い活動等、暮らしの安全安心推進事業 友愛募金運営事業 市町老連活動費 在宅療養高齢者見舞品 クラブ活動助成費 災害見舞金 友愛運営経費 お年寄りふれあい訪問事業
		6,522,000	3. 老人クラブ育成指導推進事業 指導者研修会事業 東海北陸ブロックリーダー研修会 女性リーダーセミナー開催事業 県老人クラブ大会事業 全老連等研修会参加事業 全国老人クラブ大会参加事業
		525,000	4. 広報活動推進事業
		12,758,000	事業費 共通経費
	管 理 費	3,752,000	
	支 出 合 計	40,398,000	

収支（損益）差額 △ 5,147,000

平成30年度 事業予定表

(30年4月1日～31年3月31日)

月	日・曜日	事業名	月	日・曜日	事業名
5	11(金) 17(木) 31(木) 15(火)	女性委員会 監事監査・第1回理事会 第1回評議員会 女性代表者会議	10	4(木) 11(木)～12(金) 24(水)	友愛募金運営委員会 第30回女性リーダーセミナー 第45回県老人クラブ大会（高浜町）
	6	5(火) 26(火)		第2回理事会・表彰選考委員会 事務担当者連絡会議	11
7	5(木)～ 6(金) 12(木) 19(木)	東海・北陸ブロック研修会（愛知県） 老人家庭相談員研修会（嶺南：若狭町） 老人家庭相談員研修会（嶺北：坂井市）	12	4(火)～ 5(水)	全国老人クラブ大会（沖縄県）
	8	2(木)～ 3(金) 7(火)～ 8(水)	女性リーダーセミナー 都道府県指定都市老連中央セミナー	1	18(金) 30(水)～31(木)
9	5(水) 15(土) 20(木)	表彰選考委員会 予算要望 老人の日「老人週間」15～21日 全国一斉社会奉仕の日	2	21(木) 20(水)～22(金)	予算連絡会議 老人クラブ健康づくり中央セミナー
			3	8(金) 15(金)	第4回理事会 第2回評議員会

※全老連、他団体の事業…色文字

福井県老人クラブ

「1万人会員増強運動」の推進

～年間1クラブ2名純増で1万人～



県老人クラブ連合会では、平成26年度から30年度までの5年間で運動期間として「1万人会員増強運動」を推進しております。

老人クラブの役員をはじめ会員の皆様には、この間非会員への声掛けや勧誘活動等に積極的に取り組んでいただいているところですが、平成29年度（4年次）の取り組み結果は、全体で会員数は前年度比2,173人減、クラブ数も21クラブ減となり、4年連続での減少になっております。

このように会員数が毎年減少する中、「越前市いきいきシニアクラブ連合会」では、交流の場である『サロン』の開設をとおして新規単位クラブの立ち上げや会員の増強活動に取り組み、48人増の成果をあげています。また、「永平寺町健康長寿クラブ連合会」では役員の熱心な勧誘等により前年度会員数を維持しております。

また、単位クラブでは、県内52クラブが5人以上の増となっています。

会員増強運動も5年目に入っております。毎年2,000人ほどの会員が減少しておりますが、最終年度も粘り強く、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治体と連携した取り組みをお願いいたします。

今後の取り組みの重点

- ①単位クラブはあと1人の加入増を
- ②休会・解散クラブの防止
- ③未結成地域に新規クラブを

平成29年度（4年次）会員増強運動結果（クラブ数・会員数）

市 町 名	ク ラ ブ 数				会 員 数 (人)				
	28年度	29年度	30年度	30-29 増 減	28年度	29年度	30年度	30-29 増 減	会員増強 年間目標数
福 井 市	191	181	177	-4	9,334	8,802	8,381	-421	+404
敦 賀 市	96	96	95	-1	4,876	4,747	4,559	-188	+200
小 浜 市	69	66	59	-7	3,460	3,214	2,831	-383	+140
大 野 市	69	70	70	0	3,459	3,324	3,226	-98	+138
勝 山 市	42	42	39	-3	1,807	1,762	1,592	-170	+94
鯖 江 市	81	78	73	-5	3,853	3,695	3,429	-266	+184
あ わ ら 市	59	57	57	0	3,368	3,220	3,170	-50	+122
越 前 市	121	127	130	3	6,880	6,901	6,949	48	+250
坂 井 市	87	84	83	-1	4,929	4,624	4,374	-250	+182
永 平 寺 町	31	31	31	0	1,839	1,835	1,835	0	+60
池 田 町	9	8	8	0	544	505	482	-23	+20
南 越 前 町	23	23	23	0	1,824	1,786	1,733	-53	+46
越 前 町	49	50	50	0	3,601	3,517	3,472	-45	+98
美 浜 町	30	29	27	-2	1,943	1,840	1,721	-119	+64
高 浜 町	38	38	38	0	2,488	2,445	2,386	-59	+76
お お い 町	22	22	22	0	1,352	1,326	1,300	-26	+44
若 狭 町	72	72	71	-1	3,077	2,990	2,920	-70	+142
計	1,089	1,074	1,053	-21	58,634	56,533	54,360	-2,173	+2,264

県老連事業報告

(4月～8月)

東海北陸ブロック老人クラブリーダー研修会

7月5日～6日、愛知県蒲郡市の「ホテル竹島」において平成30年度東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会が開催され、本県からは21名が参加しました。

開会のことばに続いて八十島幸雄福井県老連会長が全国老人クラブ連合会副会長として挨拶され、全老連参事 河野敦子氏による基調報告では、高齢消費者被害額は減っているものの、件数は前年より増加している現状と、老人クラブの「高齢消費者被害防止活動」に対して、内



閣府特命担当大臣より「消費者支援功労者表彰」が全国老人クラブ連合会に授与されたこと、全国的に加入促進をすすめているなか、未加入者へのアプローチや活動の魅力づくり

に役立てることを目的に、老人クラブ会員にアンケートを実施したことなどを報告されました。事例発表では「クラブの復活又は新設された事例」として京町いきいきクラブ（坂井市老連）西木憲治副会長より、クラブ復活の経緯やクラブ設立からこれまでの取り組みについて発表がありました。

～発表内容より～

地区にはもともと京和会という老人クラブはあったのですが、高齢化や役員のなり手不足で消滅寸前で、「気軽に集まれる場所が欲しい」「おしゃべりする機会が欲しい」など年々増え続ける高齢者の受け皿づくりを求める声が区に寄せられ、設立準備会を設置、活動方針を「参加を強要しない、都合が良い時だけの参加を歓迎、会員の意見を尊重して活動内容を決め運営する」として京町いきいきクラブが誕生しました。

自宅から歩いて行ける距離に活動拠点を置き、体操・カラオケ教室、スポーツ大会といった「健康活動」、日帰りバス旅行、出前講座（特殊詐欺、地域づくり）といった「学習活動」、そして「知り合いを作る活動」として地域行事に参加し地域住民や子供達との交流を楽しんでいます。また、会員同士の親睦や知識を深める活動をする「仲良しクラブ」で終わるのではなく、人のお役にたつボランティア活動もしてほしいという声を受け、公園・花壇整備や地区行事の運営協力などの「ボランティア活動」も行っています。

西木副会長は今後の課題として「これからは、今までの活動に参加者の出番をつくり、生きがいや楽しみを作っていたきながら、元気になった高齢者がそうでない高齢者を支援する仕組みを作っていきたい。私たち高齢者は今まで培ってきた経験や知識を地域住民との交流で活かし、自身の健康や生きがいを深めるとともに、地域のリーダー役を育てていきたい」とし、老人クラブの活動が地域を活性化させ、元気で安心して暮らせるまちづくりにつながることを参加者に訴えかけました。



老人家庭相談員研修会

額南ブロック

7月12日

若狭町 パレア若狭

額北ブロック

7月19日

坂井市 ハートピア春江

老人家庭相談員と市町老連の女性部長1055名を対象に研修会が開催されました。

1. 講演

「何があったの？介護報酬改定！」

(有)ほっとリハビリシステムズ 松井一人氏

超高齢社会を迎えるにあたり、まちづくりで安心して暮らせるしくみをつくるために地域包括ケアシステムが生まれた経緯を説明され、地域において、元気な方には見守り活動、介護を必要とする人には話し相手となり、民生委員やケアマネジャーには話せない具体的な要望、本当の思いを聞くとといった老人家庭相談員の活動は大変重要な役割を果たしていると話されました。また今後は、介護予防のための受け皿を地域でつくっていくことが必要であるとして、越前市での介護予防サポーター養成による成功例などを説明いただきました。

介護保険制度と
いった難しい内容を
大変分かりやすく、
時にはユーモアを
交えて説明いただき、
会場は時折笑いに包ま
れました。



2. 相談員に聞く

現在、老人家庭相談員として活動されている

方々に、実際の活動内容を質問形式で発表いただきました。

発表者

嶺南ブロック

美浜町 興道寺老人クラブ 中西 紘子さん
高浜町 高浜第12クラブ 澤田 八重野さん
青郷第4クラブ 松本 滝子さん

嶺北ブロック

福井市 第4宝寿会 安本 敏子さん
鯖江市 新横江老人クラブ 中村 靖子さん

Q 訪問の際の話題や手土産などどうしている？

- ・元気な方には行事や近所であった時に声掛けする程度、自宅訪問はあまりしない
- ・話題は天気や世間話や地域の行事の話などあたりさわりのない話
- ・相手から話してきたときは聞くが聞いた内容は他言しない
- ・手土産は基本なし、行事の案内や会報、パンフレットなどを持っていくこともある

Q 見守り活動で気をつけてみている点は？

- ・会話でおかしなところがないか、片付けができていないか
- ・夜電気が点いているか、見かけない人や車が出入りしていないか

Q 専門機関との連携はある？

- ・地区で民生委員さんや社協との情報交換の機会がある
- ・認知症の症状が疑われる方の情報を地域包括支援センターにつなげた
- ・家族の方の連絡先に気になったところを伝えただ

Q 活動中印象に残った出来事は？

- ・本人、ご家族の方から感謝されたこと
- ・対象者の家族から、言うことを聞いてくれず困った時連絡があり頼っていたこと
- ・見守り活動から一歩進んで、健康と体力づくりのための体操教室を開設し、互いに見守り活動ができる居場所づくりができたこと

3. 高齢消費者被害について

(福井県消費生活センター)

最新のオレオレ詐欺の事例や、クーリングオフ等の対処法について分かりやすく説明頂きました。契約に関するクイズでは、契約書を取り交わす前の口約束でも契約は成立することを知り、自分たちの認識の誤りに気付き、正しい対処法を学ぶよい機会となりました。

困った時には一人で悩まず

☎188へご相談

女性リーダーセミナー

8月2日～3日に灰屋（あわら市）において、市町老連の女性リーダーを対象に33名が参加し、「活かそう！女性パワー」～クラブの役割を担おう～」をテーマに研修会を開催しました。

1. 事例発表

「単位クラブ会長としての取り組みについて」

① 照手第二ふれあいクラブ 会長

（福井市老人クラブ連合会 副会長）

重久 博子氏

湊地区、照手地区の4つのクラブで活動しているが、役員はほとんどが女性。自治会と協力して「妙国公園を美しくする会」を立ち上げ、ラジオ体操などで互いに見守りのできる場所をつくるなど精力的に活動してきた。女性ならではのの生け花、着付け教室の開催、ぜんざい会や地域の祭りへの参加など地域内の交流にも力を入れている。



会員同士が話し合い、支え合い、知恵と経験を活かし、健康で楽しいクラブとして次世代に繋いでいきたいと日々努力している。

今まで会議では女性は意見も言わずコックリうなずいているだけの人が多かったが、これからは的確な意見や質問ができる人が必要。後継リーダーの育成にも努めていきたい。

② 安寿会 会長

（坂井市老人クラブ連合会 副会長）

坂野上 幸枝氏

漁業関係者が多いため、元気で仲間意識も強く団結力がある地域。会員勧誘も区長が参加し、区民運動会では地区が幟まで作ってPRするなど協力的。地区のふれあいセンターを活動の場とし、参加しやすい事業を計画している。

女性会長としての心構え

- 1、会員の健康状態、取り巻く環境などを確認し、求めていることは何かを考慮し計画を立てる（参加しやすい日程、内容、場所を提供）
- 2、リーダーとして多方面にわたり自らが学習しそれが活かされるよう心がける
- 3、男女問わず話し合える雰囲気、それぞれの目線で充分話し合う
- 4、参加者の様子に気を配るなどきめ細かい配慮

会長職はクラブの行事や活動が多くなるほど業務が増え、それをひとりで抱えてしまうことでいつしか負担になってしまいう傾向がある。後継リーダーの育成も兼ねて、みんなで役割分担して活動していくことが大切である。

2. 分散会・全体会

後継リーダー不足で休会・解散となるクラブが増えるなか、後継リーダーを女性が担うために分散会では「女性の単位クラブ会長を増やそう！」を共通テーマに掲げ話し合いをしていただきました。

・男性後継リーダーがいるところでは今のところ問題はないが、いないところでは女性会長を受け入れていただくために地域の理解や周りのかたの協力が何よりも大事、みんなが納得して支えていく環境をつくっていくことが必要

・女性会長の場合リーダーシップを発揮するといふよりも、みんなの要望を吸い上げてまと



め、男女がともに話しやすい雰囲気になるように役員と相談しながら運営していきたい

・こういった女性リーダーについて考える場に男性も参加していただき意見を出し合う機会を設けてもよいのでは

といった意見が出されました。

3. 講演

「女性リーダーの役割、笑顔で交流、

参加から参画へ!!」

(オフィス上村 代表 上村 泰子氏)

リーダーとして良好なコミュニケーションをとるためには相手をまず受け止めることが重要。まず必要なのは『笑顔』。相手の人格を認めている表現で相手が一歩進むきっかけとなる。話の内容よりも声の調子などの言い方・話し方や態度・表情などが印象に残る。

「それはダメ」「それは間違っている」は相手の人格の全否定になるため、「ここだけ直してもらえるか」など相手の立場への理解を



4. 講演

「旦那が脳出血になりました」

～経験してわかること～

(介護福祉士・福祉住環境コーディネーター 山本利枝氏)

理学療法士であるご主人が昨年3月突然脳出血になった時の様子とその時感じた率直な思い、家族とのリハビリの様子などをお話しいただきました。「脳出血は気持ちの準備もなく突然起こる病気なので家族も一度にいろいろなことを考えなくてはならない」とのお話に参加者も深く頷かれていました。

ご主人の山本進氏は、現在はリハビリを経て



示しながら意見を受け止め、落としどころを考えて意見をまとめ提案していくことがリーダーとして求められる。
またリーダーは一人で抱え込まずに、意見を出した人、動いてもらえる人をお願いすることもある。みんなの良いところを引き出しながら、お互いに楽しく活動できるように交流していただきたい。

『いきいきクラブ体操教材』のご紹介

★老人クラブのオリジナル体操★

◆DVD 【1,860 円 (税込・送料別)】

「立ってする体操」「椅子に座ってする体操」に加えて「応用編」(タオル利用)を映像でわかりやすく収録

◆CD 【830 円 (税込・送料別)】

体操用オリジナル曲の音楽 CD

実施する人のレベルに合わせて「普通」「速い」「ゆっくり」の3つのテンポがある



職場復帰をされており、当日も元気な姿をみせていただきました。「家内がいつも前向きで、いつも笑顔で接してくれたことが何よりもありがたかった」「今までできたことで何ができるようになったかを考えるのではなく、今の自分に何ができるのかを考え、これからいただいた命を生きていきたい」とおっしゃっていました。

※お問い合わせは、県老連事務局 (0776-24-4853) または
最寄りの市町老連事務局まで

第36回 都道府県・指定都市 老人クラブリーダー中央セミナー

全老連主催の中央セミナーが8月7日～8日東京で開催され、本県からは県老連副会長・小浜市老連会長 早 誠紀氏が参加しました。

「老人クラブリーダー 中央セミナーに参加して」

小浜市老連 早 誠紀

今回、老人クラブリーダー中央セミナーに参加する機会をいただき、『新規クラブを立ち上げよう！解散クラブを防ごう！』のテーマのもと、全国72名の老人クラブリーダーと共に学びました。



《1日目》

行政説明（厚労省老健局振興課長 尾崎 守正氏）

介護者の増加率が高齢化率を上回り、介護費用と保険料が増加、介護者も不足するため、高齢者も介護者になり得る。地域包括ケアシステムに行政や自治体と協働で積極的に参加する必要がある。

基調報告（全老連事務局長 谷野 香氏）

- ◎新規クラブの立ち上げ
- ◎解散クラブの防止・復活

この2つのテーマについては自治会や公民館活動と協働して成功している例が多い。

事例発表

①自治会連合会と連携して取り組んだクラブの再生

自治会連合会に協力依頼をし、市老連の会長と事務局長が会議等に出向き、説明したことにより、自治会連合会が全自治会に老人クラブ発足を決定

②加入促進委員会による解散、休会クラブの再開アプローチ

市老連で加入促進委員会を結成。活動の見える化を意識した行事への参加呼びかけや、解散・休会クラブの調査を行い、結果を会議等で報告

③現状把握から始める加入促進

地域・クラブにおける活動内容や範囲を把握し、活動空白地域へのアプローチとして地域の自治会やマンション管理組合に新規クラブ創立を働きかけ中

3例とも組織内で専門プロジェクトを結成し、自治会や公民館に協力を呼び掛けている。

《2日目》 分散会・グループ討議

「新規クラブを立ち上げよう！解散クラブを防ごう！」をテーマに13グループに分かれ意見交換しながら討議、「実現可能な取り組み

講演

「仲間づくりは地域づくり」

～老人クラブへの期待～

（日本大学教授 諏訪 徹氏）

み」としては『自治会等と連携』『リーダー、後継者の育成』という意見が多かった。

◎社会資源としての老人クラブの強み・魅力

- ・生涯現役を実現できる
- ・あらゆる地域にある
- ・高齢者にとって大きな関心事である健康づくり・介護予防から入ることができる
- ・老人クラブは高い社会的認知度がある

◎高齢者は増えているのに

会員はなぜ伸び悩むのか？ 何が障壁か？

自分の組織だけで頑張っていないか？
男性社会となっていないか、女性のネットワークやリーダーシップが発揮されているか？

地域の序列や伝統が近寄りがたさを醸し出してないか？

数多くのあて職の負担が次のリーダー候補者を躊躇させていないか？

今後の老人クラブ活動は地域社会と密接に連携し活動していくことの重要性を再認識した有意義なセミナーでした。ありがとうございました。



健康づくり 推進員の紹介



山田 准朗さん
(福井市老連)

平成30年度、県老連会長より新たに1名の方を「健康づくり推進員」として委嘱しましたのでご紹介いたします。

《抱負》

これからの地域活性化活動においては、若者の活躍は当然のことながら、我々老人クラブの活動が必要な時代となってきています。そのためには地域をあげて健康づくりを考えなければならないと考えています。

現在行われていますグラウンドゴルフ、フロアカーリング、公式ワナゲ等の軽スポーツ、健康体操、脳トレ麻雀などの普及、拡大に努め、また、食育、生活習慣病等の講習会を実施しながら自分自身も軽スポーツを楽しみ健康づくりをし、地域の皆さんとの交流を通じて健康なまちづくりに貢献できたらと思っています。

(山田さんは全老連主催の健康づくり中央セミナー(平成30年2月21～23日開催)を受講いただき、全老連の「健康づくり推進員」に認定されております)

県老連では、「市町老人クラブ連合会及び地区老人クラブ連合会」が実施する「健康と生きがいづくり事業」を支援するために「健康づくり推進員」を設置し、要請に応じて講義や実技の指導者として派遣しています。

※「市町老人クラブ連合会及び地区老人クラブ連合会」の派遣依頼をもって、講師を派遣いたします。

地区老人クラブ連合会の場合は市町老人クラブ連合会の事務局にご相談ください。

健康づくり推進員一覧

健康づくり推進員		支 援 内 容
松澤 甚三郎	福大名誉教授	保健体育、運動・スポーツ医学、健康科学に関する講義 軽スポーツ(公式ワナゲなど)などの指導
岩本 利恵子	管理栄養士	食育、肥満、生活習慣病などの食と栄養に関する講義と栄養相談、レクリエーション、体力測定などの指導
田畑 正生	元越前市老連 活性化推進員	軽スポーツ(公式ワナゲなど)、体力測定などの指導
水永 恵子	美浜町老連	レクリエーション、軽スポーツ(公式ワナゲなど)、 ラジオ体操、体力測定などの指導
山品 弘子	大野市レクリエーション 協会会長	レクリエーション、健康管理(脳トレ)、ラジオ体操 公式ワナゲなどの指導
石田 正美	坂井市老連	軽スポーツ(ゲートボール、公式ワナゲ、ビンゴボード スティックリングなど)、体力測定などの指導
山田 准朗	福井市老連	軽スポーツ(公式ワナゲ、グラウンドゴルフ)、体力測定な どの指導

地域の見守りで高齢者被害を防ぎましょう



【気づきのポイント】

次のような変化が見られたら、消費者トラブルに巻き込まれている恐れがあります。

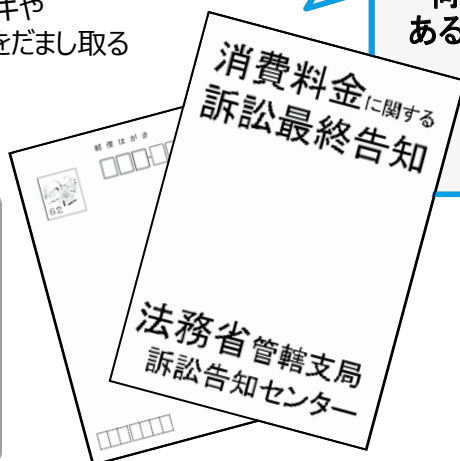
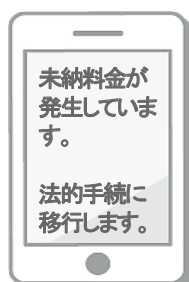
- ☑ 宅配便や郵便物が頻繁に届いている
- ☑ 見知らぬ業者がよく出入りしている
- ☑ 不自然な工事がしてある
- ☑ お金に困っている様子が見られる
- ☑ 同じような商品が必要以上にある
- ☑ 開けていない段ボール箱がある
- ☑ 見慣れない商品や名刺、パンフレットがある



身近にひそむトラブル

架空請求詐欺

不特定多数の人にハガキやメールを一齐に送り付けてお金をだまし取る



ご注意ください!!

ハガキによる架空請求が後を絶ちません。何度も送られてきたり、保護シールが貼ってある場合もあります。

連絡すると、電話番号などの個人情報を知られ、お金を要求される恐れがあるので、**絶対電話せず、無視**してください。

オレオレ詐欺

子ども等をかたってお金を騙し取る



送りつけ商法

注文していない商品を勝手に送り付ける



点検商法

無料点検等をかたって、後から修繕工事等を勧誘する



次々販売

布団や健康食品など、次々に商品やサービスを購入・契約させる

「おかしいな」「困ったな」と思ったら消費生活センターへご相談ください

福井県消費生活センター

☎0776-22-1102

福井県嶺南消費生活センター

☎0770-52-7830

消費者ホットライン

☎188(イヤヤ)

※お近くの消費者相談の窓口につながります

